



よりよい教育活動を目指して

常滑市立三和小学校長 岩月 浩子

現代は今までにない速度で変化しています。AIやテクノロジーの進化が生活や学びにも大きな影響を及ぼしています。子どもたちが大人になる未来では、AIと共存しながら、それを活用できるスキルをもつことが求められると思われます。知っている知識や得られた情報を使って、みんなで力を合わせて未知の問題を解決していく力が大切です。そこで、三和小学校ではこのような力を子どもたちに身に付けさせられるように、先生たちは研究・研修をしています。その一例を紹介しします。

授業では、ペアやグループ活動をできるだけ取り入れています。これは、自分以外の考えに触れて考えを深め、みんなで力を合わせて問題を解決していく力を身に付けることを目的としています。学習の最後では、分かったことや考えが変わったことなど、自分の学びを振り返らせています。

また、先生同士で授業を見合い、子どもたちの下校後、よりよい授業をするためにはどのようにするとよいのかについて意見交換をします。意見交換では、発問、課題の提示、ヒントなどの支援方法、タブレットなどのICT機器の効果的な活用、子どもたちをやる気にする声掛けなど多岐にわたって意見を交換します。授業を見合う以外でも、よりよい授業にするための方法などについて日常的に話し合います。

機会があれば、青海中学校や大野小学校（青海中学校区）の授業を参観したり、よい取組をしている学校の授業を参観したりします。他校の取組を参観することで、指導の幅を広げます。

また、県教育センターや市が開催する研修会などにも参加し、新しい指導方法や情報を取り入れています。

三和小学校の教育活動が未来を生きる子どもたちにとってよりよいものとなるように、今後も努めていきたいと思ひます。



授業を見合う



よりよい授業のための意見交換

陶芸体験教室

6月4日(水)に4年生が、17日(火)に3年生がそれぞれ陶芸教室を行いました。3年生はシーサーを、4年生はお地蔵様を作りました。講師の先生の手ほどきを受けながら、どの子も楽しみながら制作しました。出来上がりがとても楽しみです。



修学旅行に行ってきました

5月21日(水)・22日(木)、6年生が修学旅行に行ってきました。

子どもたちは飛鳥時代から平安・鎌倉時代までの日本の文化財のすばらしさを感じながら、歴史を学ぶことができました。



☆野外教育活動の写真は、次号に掲載します。